

安全データシート

イソプロピル=2-[[エトキシ(イソプロピルアミノ)ホスホロチオイル]オキシ}ベン
ゾアート

改訂日: 2024-05-09 版番号: 1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: イソプロピル=2-[[エトキシ(イソプロピルアミノ)ホスホロチオイル]オキシ}ベンゾアート
CB番号	: CB6667609
CAS	: 25311-71-1
同義語	: イソプロピル=2-[[エトキシ(イソプロピルアミノ)ホスホロチオイル]オキシ}ベンゾアート

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 農薬(殺虫剤)(失効農薬)
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 010-86108875

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

(物化危険性及び健康有害性)

H31.3.15、政府向けGHS分類ガイダンス (H25年度改訂版 (ver1.1):JIS Z7252:2014準拠) を使用

GHS改訂4版を使用

物理化学的危険性

-

健康に対する有害性

急性毒性(経口) 区分1

急性毒性(経皮) 区分2

急性毒性(吸入:粉じん及びミスト) 区分2

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分3

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B

生殖毒性 区分2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分1(神経系)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分1(神経系、精巣)

分類実施日

(環境有害性)

環境に対する有害性はH18年度、GHS分類マニュアル(H18.2.10版)を使用

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) 区分1

水生環境有害性(長期間) 区分1

GHSラベル要素

絵表示

GHS02	GHS07

どくろ 健康有害性 環境

注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと生命に危険 皮膚に接触すると生命に危険 吸入すると生命に危険 軽度の皮膚刺激 眼刺激 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 神経系の障害 長期にわたる又は反復ばく露による神経系、精巣の障害 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

取扱い後は...よく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。環境への放出を避けること。

応急措置

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である(このラベルの...を見よ)。注)"..."は、ラベルに解毒剤等中毒時の情報提供を受けるための連絡先などが記載されている場合のものです。ラベル作成時には、"..."を適切に置き換えてください。口をすすぐこと。皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。汚染された衣服を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。吸入した場合:空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。特別な処置が緊急に必要である(このラベルの...を見よ)。注)"..."は、ラベルに解毒剤等中毒時の情報提供を受けるための連絡先などが記載されている場合のものです。ラベル作成時には、"..."を適切に置き換えてください。皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。漏出物を回収すること。

保管

施錠して保管すること。換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

-

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: イソプロピル=2-[[エトキシ(イソプロピルアミノ)ホスホロチオイル]オキシ}ベンゾアート
別名	: イソフェンホス O-エチル-O-(2-イソプロポキシカルボニルフェニル)-N-イソプロピルチオホスホルアミド(別名イソフェンホス) Benzoic acid, 2-[[ethoxy[(1-methylethyl)amino]phosphinothioyl]oxy]-, 1-methylethyl ester Isofenphos
濃度又は濃度範囲	: 100%
分子式(分子量)	: C ₁₅ H ₂₄ NO ₄ PS (345.4)
CAS番号	: 25311-71-1
官報公示整理番号	: 情報なし
国庫公示整理番号	: 4-(9)-258
分類法 (GHS)と 分類法 (JIS)と 分類法 (JIS)と 安定化添加物	: -

4. 応急措置

「2.危険有害性の要約」における応急措置も確認すること。

吸入した場合

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚に付着した場合、直ちに医師に連絡すること。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

データなし

応急措置をする者の保護

被災者が(有害)物質を飲み込んだり、吸入したときは口対口法を用いてはいけな;逆流防止のバルブがついたポケットマスクや他の適当な医療用呼吸器を用いて人工呼吸を行う。

医師に対する特別な注意事項

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

水噴霧、棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

情報なし

環境に対する注意事項

情報なし

封じ込め及び浄化の方法及び機材

情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱い注意事項

使用前に使用説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

皮膚との接触を避けること。

飲み込まないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

眼、皮膚又は衣類に付けないこと。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

接触回避

情報なし

衛生対策

情報なし

保管

安全な保管条件

情報なし

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

日本産衛学会(2019年度版)

未設定

許容濃度

ACGIH(2019年度版)

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。特別な換気要求事項はない。適切な呼吸器保護具を着用すること。

保護具

呼吸用保護具

情報なし

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状

液体

色	データなし
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	情報なし
pH	データなし
<-12℃ : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)	
120℃ (0.01mmHg) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)	
>115℃ : IUCLID (2000)	
データなし	
データなし	
データなし	
0.000004mmHg (20℃) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)	
データなし	
1.13g/cm3 (20℃,4℃) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)	
水 : 23.8ppm (20℃) : Merck (13th,2001)	
log Pow=4.12 : PHYSPROP Database (Access on Sep. 2008)	
データなし	
データなし	
データなし	

融点・凝固点

<-12℃ : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

沸点、初留点及び沸騰範囲

120℃ (0.01mmHg) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

引火点

>115℃ : IUCLID (2000)

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

燃焼性(固体、気体)

データなし

燃焼又は爆発範囲

データなし

蒸気圧

0.000004mmHg (20℃) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

蒸気密度

データなし

比重(相対密度)

1.13g/cm³ (20℃,4℃) : NITE総合検索 (Access on Sep. 2008)

溶解度

水 : 23.8ppm (20℃) : Merck (13th,2001)

n-オクタノール/水分配係数

log Pow=4.12 : PHYSPROP Database (Access on Sep. 2008)

自然発火温度

データなし

分解温度

データなし

粘度(粘性率)

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

「危険有害反応可能性」を参照。

化学的安定性

情報なし

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラットを用いた経口投与試験のLD₅₀ 2.11 mg/kg(RTECS(2006)), 20 mg/kg(IUCLID(2000)), 28 mg/kg(HSDB(2006))に基づき、計算式を適用して得られた 4.2mg/kg から区分1とした。

経皮

ウサギを用いた経皮投与試験のLD50 162 mg/kg(RTECS(2006))、162 mg/kg(HSDB(2006))から区分2とした。

吸入:ガス

GHSの定義による液体であるため、ガスでの吸入は想定されず分類対象外とした。

吸入:蒸気

データなし。

吸入:粉じん及びミスト

ラットを用いた吸入暴露(粉塵・ミスト)試験のLC50 0.144mg/L(4時間)(RTECS(2006))、0.2mg/L(4時間)(IUCLID(2000))、0.3mg/L(4時間)(HSDB(2006))に基づき、計算式を適用したLC50 0.144mg/L より、区分2とした。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

IUCLID(2000)のウサギを用いた皮膚刺激性試験(4時間適用)において、「slightly」との報告があったことから、軽度の刺激性を有すると考えられるため区分3とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

IUCLID(2000)ウサギを用いた眼刺激性試験において、皮膚と同様に「slightly」との報告があったことから、軽度の刺激性を有すると考えられるため区分2Bとした。

呼吸器感作性

データなし。

皮膚感作性

IUCLID(2000)のモルモットを用いたマキシマイゼーション法において、「not sensitizing」との報告があったことから区分外とできるが、本陰性報告1つでは区分外とし難いため分類できないとした。

生殖細胞変異原性

データ不足のため分類できない。

発がん性

マウス及びラットでの発がん性試験の報告があるが既存分類がないため、専門家の判断に従い、分類できないとした。

生殖毒性

IUCLID(2000)の記述から、親動物に一般毒性のみられる用量で、次世代に影響がみられていることから区分2とした。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)

甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50=1.6ppb(AQUIRE、2003)から、区分1とした。

水生環境有害性(長期間)

急性毒性が区分1、急速分解性がないと推定され(BIOWIN)、生物蓄積性があると推定される(log Kow=4.12(PHYSPROP Database、2005))ことから、区分1とした。

オゾン層への有害性

-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

2783/2784/3017/3018

国連品名

ORGANOPHOSPHORUS PESTICIDE, SOLID, TOXIC/ORGANOPHOSPHORUS PESTICIDE, LIQUID, FLAMMABLE, TOXIC, flash point less than 23 °C/ORGANOPHOSPHORUS PESTICIDE, LIQUID, TOXIC, FLAMMABLE, flash point not less than 23 °C/ORGANOPHOSPHORUS PESTICIDE, LIQUID, TOXIC

国連危険有害性クラス

6.1/3/6.1/6.1

副次危険

該当しない

容器等級

II/II

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78附属書II及び

IBCコードによるばら積み

輸送される液体物質

該当しない

国内規制

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

陸上規制情報

道路法、消防法、毒物及び劇物取締法の規定に従う。

特別な安全上の対策

道路法、消防法、毒物及び劇物取締法の規定によるイエローカード携行の対象物

その他 (一般的) 注意

化学品を扱う場合の一般的な注意として、輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号*

131

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

毒物(指定令第1条)/劇物(指定令第2条)

消防法

第4類危険物第3石油類

化審法

新規公示化学物質（2011年3月31日以前届出）

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>

pageID=0&request_locale=en

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。